

災害時、JCに求められるものとは？

平成28年11月22日(火) 於 柴崎事務局
2016年度 調布青年会議所まちづくり委員会 公開委員会 結果報告

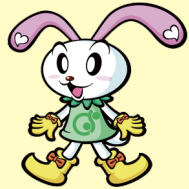


まちづくり委員会が3月に仙川で行った、
調布市民へ防災に対する意識付けを行うイベント
「Save your family」でのアンケート結果をもとに、
災害時に青年会議所(JC)がどのような役割を期待されているのかを考える場を設けました。
当日は社会福祉協議会の方にもお越しいただき、
「JCに求めていることは何か」をお話しいただきました。

社会福祉協議会とは？

全国の都道府県・市町村にあり、まちづくり活動を行う社会福祉法人。高齢者や子供、障害を持つ方達との接点が多く、福祉的なサービスを提供します。消防団、PTA、NPOなど、それぞれのテーマをもって町のために活動する団体との連携を取りながら活動をおこなっています。

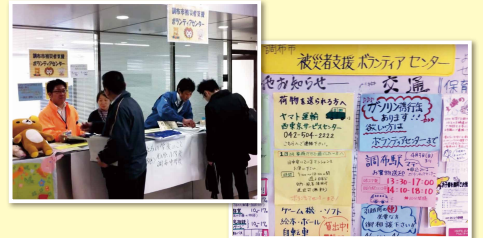
調布社協キャラクター
「ちょビット」 ▶



社会福祉協議会のHP
◀ <http://www.ccsw.or.jp>

災害ボランティアセンターとは？

災害時にボランティア活動の拠点として設置されます。全国から届いた救援物資を避難場所である体育館などに届けたり、必要なものが必要なところへちゃんと届くようニーズを聞き取りながら活動をおこないます。NPOや調布JCメンバーなど、地域で動ける人が必要とされています。



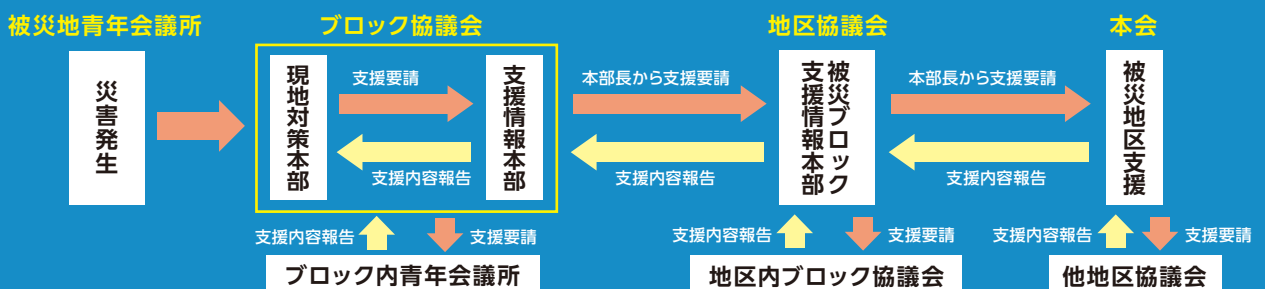
調布ボランティアセンターのHP
◀ <http://chofu.vc/229>



内閣府の示す災害時のJCの役割

内閣府の防災情報のページ、「災害被害を軽減する国民運動」内の「減災への取り組み」として、「青年会議所の災害時における被災地復旧支援、地域の防災活動」が記載されています。

国もJCの組織力が災害時に役立つことを期待しています！



◀ 内閣府の防災情報のページ <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/torikumi/ssh19005.html>

当日のディスカッション

社会福祉協議会の方のプレゼンテーションを受け、ディスカッションではこんな意見や感想が出ました。

被災の直後だけでなく、その後の**長期的な町の再開発、復興**についても、事前に準備できることがあれば考えておかなければいけないですね。

最初に自衛隊や消防が入り、その後にボランティアが開始されるが**機能するまでには時間がかかる**。その間にJCが何かできるのではないのでしょうか？

JCメンバーには**建設業関係も多い**ので、重機を動かしたり建設業組合と外部ボランティアの調整も可能ですね。

災害で困っているところへ**まとまった金額を予算から**出すことも検討できるのではないのでしょうか。

日常から、地域の方々に「**青年会議所は頼れるところなんだ**」という意識を持ってもらえるような活動することも大切。

他業種のメンバーがいるため、各自、災害が起こったときに**自分の会社でできること**を考えておくと良いと思います。

災害時、携帯電話が繋がらなくなる場合も想定して、JCメンバーどうしの**災害時の連絡方法**を決めておくとうまいと思います。

ボランティアに来てくれる多くの人達を統率する人材が不足するので、JCメンバーが**リーダーとして動く**ことが期待されていると感じました。

社会福祉協議会とJCとの間で協定や規定を結んだ場合、JCメンバーは流動的なので現役メンバーが常にその**規定を認識しておく**必要がありますね。

災害時には青年会議所のネットワークの強さが役立つ！

いざという時のために、普段からJCメンバー間で絆を強めておくことが重要。

また、社会福祉協議会とJCの間で交流をはかっておくことも必要です。

災害が起こったときJCに何ができるのか？ 皆さんもこの機会に考えてみてください！